

全酪連会報 ⑥

2017 JUN No.621

若手後継者の本音／大掠陽平さん

第46回 全国酪農青年女性酪農発表大会発表者決定!!

購買部だより／全酪連 若齢預託熊本牧場 竣工!

酪農トピックス／「自民党東北酪政会」へ要請活動
日本酪政連東北ブロック協議会(仙台)ほか

酪農部だより／全酪連ギフト商品について

栄えある春の叙勲・褒章

日本酪農見て歩紀／広島県三次市三和町 安瀬平牧場



全国酪農業協同組合連合会



今回ご紹介する大掠牧場は、十勝清水町農業協同組合（串田雅樹代表理事組合長）に所属し、酪農、畑作兼業農家として、搾乳牛32頭、育成牛30頭を飼養し、自給飼料の牧草（20ha、ラップサイレージ）とデントコーン（5ha）のほか、小麦（12ha）、小豆（11ha）、ビート（7ha）を作付けしています。労働力は、今回お話を伺った後継者の陽平さん（29歳）とご両親の正善さん、郁恵さんです。



大掠陽平さん

今回は、北海道上川郡清水町 大掠牧場の後継者大掠陽平さんにお話を伺いました。

就農までの経緯と現在の取組み

姉が3人いますが、長男と言うこともあり幼少の頃から牛舎作業を手伝っていたので、自然と将来は実家を継ぎ酪農をすることを意識していました。帯広農業高校卒業時に実家で働くことを決心し、卒業と同時に就農し11年めとなります。現在は両親ともに元気で経営移譲はこれからですが、少しずつ自分の経営を意識し取り組み始めています。具体的には、飼料給与において良質な自給飼料の生産を目指しています。当たり前のことではありますが、自給粗飼料はその年の天候、環境により品質に大きく差が出るので、それらに左右されない安定した粗飼料確保が重要と考えています。例えば昨年は台風の影響でデントコーンの収穫が遅れ例年に比べ品質の悪化が避けられなかったため、糖蜜飼料等の添加物を使用して自給粗飼料の喰いこみ低下を防止しました。また、それ以外にも十勝管内の業者から醗酵飼料を仕入れて給与するなど、嗜好性向上のため試行錯誤しながらさまざまな方法を取り入れて実践しているところです。また、将来の規模拡大を見据えて29年4月に離農跡地を購入して牛舎を移転しました。そのため

今年度からは営農計画等経営面においても主体的に取り組みたいと考えています。特に移転後の牛舎での増頭については、情勢的に初妊牛の外部からの導入は年々難しくなっており、自家産の牛で増頭していきたいと考えているため、現在は雌雄選別精液を使用したホルメスの確保に重点を置き、繁殖管理に取り組んでいます。

両親との協力について

就農して11年を迎え実家の牧場の問題点も見えてくるようになったので、それらを改善しより良い牧場にしていくため、現経営主である父親に積極的に自分の意見を提案していくようにしています。これまでも牛舎内の機械化を進めたり、畑作業のためのトラクターにGPSを取り付け作業効率化を図ってきました。また今年の牛舎移転に関しても自分から父親に提案、説得をしました。特に今回は今後の牧場経営に係る大きな投資であったので、農協に営農計画等を作成してもらい、両親の説得の材料としました。

このように積極的に自分の意見を発信されている陽平さんについて、両親はどのように思われているのか聞いてみたところ、「牛舎移転



新牛舎内部

若手後継者の 本音

vol.26

【経営概況】

所 属 十勝清水町農業協同組合(串田雅樹代表理事組合長)
家族構成 大掠陽平さん、ご両親の正善さん、郁恵さん
飼養頭数 搾乳牛32頭 育成牛30頭

自分の意見を発信して、 家族でより良い牧場に

して投資をしたのでこれから難しい問題が出てくると思うが、息子が後継者なので後悔しないように好きなように牧場経営をしてもらいたい。」との温かいお言葉が返ってきました。

就農して感じる酪農について

就農し、農業者として酪農に携わると、現場の人材不足を感じます。十勝清水町農協管内でも人材不足で酪農ヘルパーが少なく、ヘルパー希望者は抽選制となっており、必要な時に確実にヘルパーを利用できない状況が発生しています。また、今後規模拡大に伴い従業員を雇用することも考えていますが、他の牧場でも人材確保が難しいと聞いています。海外労働者を雇用する牧場も多く存在しますが、問題も多いと聞くので雇用するなら日本人をと考えており、どのように労働力を確保していくか不安に感じています。今後これらの人材不足の問題について、私たち農業者の努力とともに行政や関係機関にも改善を図ってもらいたいと考えています。

今後の目標

現在牛舎を移転して間もないため牛群も旧牛舎の規模のままですが、これから5年ほどかけて移転先牛舎規模の80頭まで搾乳頭数を増やしていきたいと考えています。また、育成舎・乾乳舎については移転前の4キ口ほど離れた移



全国の若手後継者の皆さんへ 一言！

経営移譲をされていない方も、自分の意見をどんどん主張していきましょう！例えすぐに意見が通らなくても、将来の自分の経営を見据えて現事業主である父親と一緒に牧場を向上させていくことが大切だと思います。



転前牛舎施設を利用しているので、これらの施設についても移転や新設等、整備していきたいと思っています。さらに現在はずなぎ牛舎ですが、私自身はフリーストール牛舎、搾乳ロボットに興味があります。今後勉強を重ねたうえで、自分の経営にマッチするようであれば導入に向けて家族ともよく相談して進めていきたいと思っています。そして今後はこれまで以上に「経営」を意識して、受け継いだ牧場をより発展させていけるよう経験を積んでいきたいです。

全国酪農青年女性 酪農発表大会

発表者決定!!

全国酪農青年女性会議（半澤善幸委員長）と本会共催の「第46回全国酪農青年女性酪農発表大会」（7月13日（木）14日（金）、北海道札幌市「札幌ヒューホテル大通公園」で開催）の予選を兼ねた各地域会議の発表大会が3月から4月にかけて開催されました。各地域会議の酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部の代表者が決定しましたのでご紹介いたします（全国大会発表順）。

酪農経営の部



中部酪農青年女性会議
愛知県 渡辺 賢司さん
若者目線で経営改善

経産牛100頭をフリーストールで飼養し、1日3回搾乳している。平成22年に就農してから牛の観察を重視し、クラウドの活用、子牛の健

康管理など、事故率を軽減させながら着実に経営所得を向上させている。地域関係者と連携した取り組みなど全国への波及が期待できる。



北海道酪農青年女性会議
北海道 関口 真也さん
酪農、誰もができる楽農へ

草地管理から採食状況の確認、疾病の早期治療、肢蹄管理を徹底することで多産を目標とするともに、自家育成を基本とし血統の改良にも取り組んでいる。また、経営者として誰でも作業ができる酪農を目指してそれらの作業を効率的に簡素化し、従業員にも覚え

やすい工夫をしている。将来は省力化によりパートタイムの雇用に対応できる作業環境を整備することで地域の雇用に繋げ、酪農を知らない人に「酪農」が難しく大変な仕事でないことを伝えていくことを目指している。



東北酪農青年女性会議
福島県 田中 進さん
開拓精神を受け継ぎ、酪農共同体として次世代と継承
地域酪農の永続性を求めて

開拓地で、永続的な営農生活を守っていくため、5戸の酪農家による共同経営を選択。自給飼料生産、コントラ事業、耕畜連携、堆肥流通など、地域の農地を荒廃させない

ために積極的に取り組んできた他、様々な牛群管理方法も取り入れている。今後、規模拡大を行ない、地域の雇用促進や搾乳素牛供給など地域一体となる構想を紹介する。



関東甲信越酪農青年女性会議
茨城県 関 岳彦さん
「地域に根差す酪農経営を目指して」
「父からのバトンをうまく受けて」

近隣の農家から飼料畑を借り受

け、また利根川の河川敷を利用する

などイタリアンやトウモロコシの作付面積を増やし、自給飼料主体の飼養管理体系で高い収益性を確保す

ると共に、牛舎内外の清掃と整理整頓を徹底し、良質乳を生産している。



西日本酪農青年女性会議
山口県 松永 毅さん

受け継いで、その先へ

平成13年に就農、平成22年には70頭規模のフリーストール牛舎を現在の場所に新設移転し、経産牛45頭、未経産牛20頭を飼養。自給飼料はイタリアンとヒエを約8ha作付する

とともに、耕種農家との連携でWCSを活用し、循環型酪農を実践している。地域住民・農家とのつながり、経営検討会などの取り組みにより収益性の向上を図っている。



九州酪農青年女性会議
宮崎県 長友 佳奈美さん
未来につなげたい酪農経営を目指して
酪農家だからを言い訳にしない

経営実績、飼養管理成績、さらに、生産コストの低減、省力化、ゆとり経営、畜産クラスターの構築と実践という視点を重要視して審査をおこなった。省力化のために導入した

機械の持っている特性を組み合わせることで省力化を実現している。畜産クラスター事業の利用・活用によって、ゆとりある労働環境を実現している。

酪農意見・体験の部



北海道酪農青年女性会議
北海道 田村 純子さん

持参金回収からの酪農夢歩きへ

畑作農家の後継者として育ちながら、「最悪な職業」というイメージであった「酪農家」と結婚。さらに経営移譲された牧場は巨額の負債を抱えた状態からのスタートであった。そのような中でも、負債解消に向けて努力し続け、数年後には夢で

あったフリーストール牛舎を完成。自身の酪農ビジョンに基づき、酪農技術を磨きながらも酪農を楽しむ、その楽しみを多くの人に伝えてきた。借入金償還の完済に目途がたった現在は、次の夢に向かって夫婦で力を合わせてさらに前進している。



東北酪農青年女性会議
宮城県 高橋 駿太さん
自分の目標に向かって牛と共に歩む

学生時代に国内外の実習先で得た理想と、実家に戻っての現実とのギャップに悩みながらも、母校の恩師の「ゆつくりでいいから自分の目標に向かって牛と共に歩いて行こ

う」という言葉に励まされ、牛群管理や施設改善に奮起し、実行すれば結果が出ることへのやりがいや魅力を実感している今を語る。



西日本酪農青年女性会議
岡山県
安富 由美子さん
最高のパートナー

酪農とは無縁だった世界から酪農の世界に飛び込み、いろいろなことを経験・勉強し、今は牛を最高のパートナーと言えるほど牛が大好きになった。一方で、自家産生乳を使用したアイスクリームシヨップには

酪農家へ嫁いだが、様々な困難に直面し戸惑いを感じていた中、ご主人が出席された全国酪農発表大会に同行。全国の酪友が思いを語る姿を見て「私もやっていいんだ、私もやりたい」と言う思いで保育園や小学校を牧場に受け入れを開始。地元小学校の社会科副読本として酪農が取り上げられ、今では小学校のCOWクラブを年4回、放課後の時間に牧場の手伝いやアイスクリーム作りを行っている。



関東甲信越酪農青年女性会議
栃木県
前田 匡彦さん
畑のおじさんになりたくて

東京都大田区の町工場に生まれた前田さんは保育園の時に芋掘り体験をし、将来「畑のおじさん」になりたいと思ったのが切っ掛けで、現在は酪農場の農場長として、スタッフとともに東日本大震災後の経営再建を

酪農家の長男として生まれ自動車整備士として就職後、人力車俵夫に転職したのち実家で就農、現在活動的な毎日を送っている。中部酪農発表大会では参加者から「目線、考え方、若いのに堅実で素晴らしい。将来に対する展望がある」、「若いときの様々な体験、酪農界だけではなく何にでも挑戦する気持ちに感動した」などの声が寄せられた。



九州酪農青年女性会議
熊本県
後藤 みどりさん
チャイムが聞こえる牧場で
幸せになるための10年間の軌跡

旦那さんと大好きな牛たちとの幸せな生活が待っていると期待を胸に



中部酪農青年女性会議
石川県
西出 穠さん
私の酪農家への道



全酪連

若齢預託熊本牧場 竣工!



全酪連若齢預託熊本牧場が4月27日(木)に竣工式を迎えました。若齢預託牧場としては、矢吹牧場（福島県西白河郡矢吹町）に次いで2か所目となります。

若齢預託熊本牧場は、概ね生後6日齢からの受け入れが可能で、6か月齢まで預かります。預託期間を終えた牛は、北海道の預託牧場等へ上牧すること、酪農家の哺育・育成管理の労力が軽減され、搾乳後継牛の確保が期待されます。

竣工祝賀会には、熊本県酪農農業協組合連合会、限部洋代表理事会長を始め、ふくおか県酪農農業協同組合、尾形文清代表理事組合長、沖縄県酪農農業協同組合、新里重夫代表理事組合長、九州農政局、熊本県庁など多くのご来賓が出席され、華々しく開催されました。

全酪連は、預託事業を通じて酪農生産基盤の維持・拡大に取り組んで参ります。

住 所：熊本県菊池市泗水町豊水 1216-6
受 入 頭 数：90頭/月間
常時在场頭数：540頭
施 設：哺育舎4棟、育成者2棟、堆肥舎1棟、事務所1棟

仙 台
支所発「自民党東北酪政会」へ要請活動
日本酪政連東北ブロック協議会

日本酪政連東北ブロック協議会（会長：佐々木勲岩手中央酪農代表理事組合長）は、去る5月17日(水)、自由民主党本部にて行われた自由民主党東北酪政会の総会において、要請活動を行いました。

自民党東北酪政会は、鈴木俊一衆議院議員（岩手2区）が会長を務め、東北選出の自民党国会議員27名で構成されていますが、当日は21名（代理出席5名含む）の出席があり、酪政連東北ブロック協議会からは21名の参加がありました。

冒頭、鈴木会長は、「本国会で畜安法が審議される。指定団体制度、補給金制度は、今後問題の無きようしっかりと設計されなければならない。」と挨拶しました。続いて根本匠（衆・福島2区）幹事長は「制度変更は、守るべきものは守る、改革が必要なものは

改革する。しっかり議論をし、生産者のための指定団体制度でなければならない。」と述べました。

総会では、酪政連東北ブロック協議会からの意見聴取の時間が与えられ、参加した委員は「補給金交付において、いいとこ取りは許されない。法案もそうであるが、省令に明記される部分委託はしっかりとしたものにしていただきたい。」「後継者問題、後継牛問題は喫緊の課題。規模拡大・集約すればいい、廃業牛舎は誰か若いのがやればいい、ということではなく、地域を守れる方策、地域を守る農業を我々も考えるのでは是非力を貸して頂きたい。」または、「後継牛高騰の折、長命連産が望まれる。改良の視点をかえる必要がある。」など、多くの要望、意見が交わされました。

(I.M)



▲ 意見に賛同する東北酪政会議員



▲ 会長の鈴木俊一衆議院議員

▼ 要請する酪政連委員



東京
支所発

第7回 東京支所管内「会員女性職員研修会」開催！

今年で7回目の開催となる東京支所管内会員女性職員研修会を4月25日(火)に横浜港「本牧ふ頭BCターミナル」で行いました。

本牧ふ頭は横浜港におけるコンテナ取扱数量のうち60%を占める大きなコンテナターミナルです。また、コンテナに荷物の入った実入りコンテナと空のコンテナが同じターミナル内に保管されている、という特徴を持っています。



▲ 研修の様子

研修会は初めに事務所の会議室でビデオにてターミナルの概要を学びました。そのあとヤードを一望できる屋上へと移動し、積み上げられたコンテナを大きな門型のクレーンで吊り上げるように持ち上げ、トラックに載せて搬出する様子を見学しました。また、屋上からはコン



▲ ガントリークレーン

テナ本船からの荷降ろしする作業も見ることができました。ガントリークレーンと呼ばれる大きなクレーンを使い本船からコンテナを荷降ろしする光景は壮大で、高さ約30mの場所に操縦席がある為、クレーンの操縦には技術と集中力が必要だと感じました。

屋上からの見学後はバスでターミナル内を周りました。本船のすぐ近くまで行くことができ、そのスケールの大きさを実感することができました。普段目にすることのできないコンテナターミナル内を見て歩くことができた貴重な経験でした。

研修後には懇親会も開かれ、普段直接お会いする機会の少ない会員職員の方々と懇親を深めることができました。遠方よりご参加いただきました皆様、並びにご協力いただきました皆様にも深く御礼申し上げます。ありがとうございました。(K.M)



▲ 参加者の集合写真

名古屋
支所発

三重県酪連、伊勢楽市にて牛乳PR活動を展開

5月20日(土)～21日(日)に三重県伊勢市の伊勢神宮外宮前にて、年に2回開かれる伊勢楽市が行われました。

三重県酪農業協同組合連合会（谷川原万欣代表理事会長）は会場内で出展し、6月1日(木)「牛乳の日」キャンペーンとして牛乳のPR活動を行いました。

ブースでは、ミルメーク1,000個を、牛乳の効能を書いたチラシや牛乳を使った料理のレシピと一緒に来場者に配布しました。お子様連れの家族には牛柄のエンピツとケシゴムもプレゼントしました。

また、愛知県・長野県・岐阜県・三重県をカバーする東海酪農業協同組合連合会（杉浦弘泰代表理事

会長）では、「地元の牛乳・キリカキキャンペーン2017」を現在開催中です。これは牛乳パックの切欠きを集めて応募すると抽選で乳製品が当たるキャンペーンです。今回、来場者1人1人に対して、生乳100%使用の「牛乳」のパックだけに切欠きが付いていることや、キャンペーンの説明も行いました。

来場者からは、「牛乳は毎日飲んでるよ」という反応が多く聞かれました。中には「切欠きについても知っている」という方もいました。

これらのキャンペーンにより、消費者の方に牛乳への理解を深めていただき、これからももっと牛乳を飲んでもらえたらと思います。（Y.K）



安瀬平牧場 広島県三次市三和町

経営の力ギは長命連産

地域紹介

安瀬平牧場がある三次市三和町は、広島県のほぼ中央に位置し、町を流れる美波羅川沿いには約9kmにわたって25年ほど前に地域の人々の手によって植えられた桜並木はその本数の多さから「千本桜」とも呼ばれ、年月を経るほどにその美しさを増し多くの人々が花見に訪れる風光明媚なところ

です。
中国山地沿いとしては比較的温暖な気候で米や野菜の生産が盛ん



▲ 牧場全景

な地域です。また、戸数は減ったものの酪農も盛んな地域で、今回訪問しました安瀬平牧場を含め5戸の酪農家が約650頭の乳牛を飼育し生乳生産を行っています。

安瀬平牧場が所属する広島県酪農業協同組合（岩竹重城代表理事組合長）は、生乳生産戸数は130戸（平成29年4月末日現在）、平成28年度生乳生産量は47,493tとなっています。

牧場の歴史

安瀬平牧場は、ご主人の直寛さんの曾祖父にあたる喜三郎さんが安瀬平草原を眺めながらこの地で酪農をやりたいとの思いで、祖父の正之さんと昭和42年9月15日に静岡県より5頭の乳牛を導入したことから始まります。その後、昭和45年にお父さ



広島県三次市三和町

▲ 畜魂碑を背にして（右より、みどりさん、寛明さん、志保さん、直寛さん、従業員の吉山さん）



▲ ブロックサイロを改造したフリーバーン牛舎

ん寛明さんが経営移譲を受け、昭和49年にはバーンクリーナーとパイプラインを導入した60頭のキング式牛舎を手作りで建設されています。またその当時、搾りたての生乳を使った「安瀬平連峰ヨーグルト」を販売したところ評判となり県外からも注文がくるまでになり、平成4年には経営参加していた叔父がヨーグルト製造工場を整備し独立、両親の2人となったことから頭数をピーク期の60頭から40頭まで縮小せざるを得なくなったとのこと。しかし、平成7年にご本人の直寛さんが短期大学として農業技術大学校を卒業し就職と同時に20頭を増頭、ブロックサイロを改造したフリーバーン牛舎の牛の調子が良く、「牛を自由に飼うこと」で牛は能力を発揮することを

実感、平成14年に30頭を増頭し現在のフリーストール牛舎を建設されました。パーラーは、旧牛舎の一部を改造し8頭1列のアプレスト式パーラーを設置されました。パーラーの設置については、全国いろんなところに視察に行き、アプレスト式パーラーであれば旧牛舎を改造してできると確信されたそうです。そして、平成25年に現在のパラレル式8頭ダブルのパーラーを建設され現在に至っています。安瀬平牧場の平成28年度の生乳生産量は、ヨーグルト用の生乳も含め1,333tとなっています。



◀ 乳量等のデータチェックする直寛さん

▶ 道の駅で販売されているヨーグルト



経営の概況

① 家族構成

安瀬平牧場の家族構成は、ご主人の直寛さん（43才）と平成19年に結婚された奥さんの志保さん、お父さんの寛明さん、お母さんのみどりさん、そして、1男2女のお子さんとなっています。

また、常時2名、パート2名の従業員を雇用されています。常時雇用の吉山剛さんは近々に隣の離農跡地に新規就農を目指しているそうです。

② 飼養頭数

現在の飼養頭数は、経産牛145頭、未経産牛20頭、及び若齢牛15頭の180頭です。後継牛となる育成牛は6ヶ月齢から分娩2ヶ月前までの期間は北海道に預託されており、今は未経産牛20頭の内10頭が北海道預託牧場にいるとのこと。

③ 作業分担

作業分担は、直寛さんが作業全般、お父さんは搾乳、お母さんは哺育・育成を担当され、奥さんはまだお子さんが小さいため経理事務、環境美化をされているとのこと。

とですが、お父さんは酪農組合の理事等の役職に就かれており外に出ることが多いとのこと、従業員も含め安瀬平牧場の特徴であります家族が力を合わせて日々の作業をされています。

④ 給与飼料及び自給飼料

搾乳牛の給与飼料は、フリーストール牛舎の2棟は搾乳牛を飼養しており受胎牛と未受胎牛の2群に分け、所属する広島県酪農協が製造供給している広酪TMRを1種類のみの給与、調整用として輸入牧草のオーツヘイと配合飼料を使用するといういたって簡単な給与体系となっています。

また、自給飼料は、スーダンと飼料稲を合わせて約1ha栽培されており、育成牛に給与されています。

経営の特徴・こだわりと地域とのつながり

① 給与飼料は広酪TMR

25年ほど前までは、最盛期は寝る暇も惜しんで自給飼料を作っていたが、苦勞して作った草の硝酸態窒素が原因で起立不能等の病気が発生したこと、また、自給飼料を作るには土地、機械、種子・肥料、



そして労力が必要なことから、「自分達がやらなくても外部でやってもらえるものならしてもらったほうがいい。」との考えで広酪TMRの使用を開始したとのことです。そして、使用を開始した平成14年度の経産牛1頭当たりの平均生乳生産量は、前年に比べ約800kg増加の9,759kgまで伸び、現在も10,000kgを維持されています。



▲ 広酪TMR

② 経営の力ぎは長命連産

「酪農業は生乳を搾って成り立つもの」との考えで代々取り組まれ直寛さんにも受け継がれています。直寛さんは、「長命で健康な牛作りをすれば、乳量はおのずと付いてくる。そのために大切なことは、牛をよく観察し管理すること。」とのことです。ミルクングパーラーシステムでの日々の個体別の乳量等のデータチェックは欠かせない作業となっています。発見した調

子の悪い牛は一箇所に(ホスピタル)に集め、獣医師の治療を受けるなど回復するまで別管理をされています。また、乾乳牛を対象に毎月の作業として削蹄をされています。

③ 地域とのつながり

将来の新規就農につながればと、地元の幼稚園、小学校や老人会の視察の受け入れ、中学校の職場体験学習の受け入れもされています。酪農経営の参考になればと、全国の酪農家や関係者の視察の受け入れもされており、年間30件ほど視察があるとのこと。また、安瀬平牧場での就労を経験した後、自立して酪農を始めた方が数名いらつしやるそうです。

今後の目標・夢

労働力は年齢とともに年々減少し維持できなくなるもの、そのため今目標として考えていることは、将来の後継者が「経営継承したい」と強く思ってもらえるような魅力ある牧場にあることだそうです。飼養規模は、今のところ現状を維持し拡大は考えていないとのことでしたが、牛の生産性の向上、牧場内での作業効率の向上・労力低減など改善できる



▶ 2群管理(前期と後期)



◀ 糞尿は発酵後戻し堆肥として利用

ところがあれば検討し、実行可能になれば随時行い、より魅力ある牧場にしていきたいとのことでした。

現状、昔の搾乳牛舎を育成牛舎として利用していますが、今検討していることは、育成牛舎をリフォームし哺育・育成作業の労力を低減することだそうです。

終わりに

安瀬平牧場が曾祖父の安瀬平草原で乳牛を飼いたいとの思いで誕生し

たように、いつかその条件がそろい、そして、この立地と環境が規模拡大へと後押ししてくれるものと思えます。その日が必ず来ることを願い、春風のなか若葉が香る安瀬平牧場を後にしました。

この度は、大変お忙しい中、家族の皆さんが取材にご協力いただきありがとうございました。安瀬平牧場の皆様のご健康と今後ますますのご発展をお祈りいたします。

追記

平成14年フリーストール牛舎を建設するため土地を造成したところ、今まで家族とともに働いてくれた牛の骨がたくさん出てきたそうです。お父さんの寛明さんが牛に感謝し慰霊をするために平成15年に畜魂碑を建てられました。以下がその碑文です。

『昭和42年9月15日5頭導入安瀬平牧場開業

祖父 温泉川喜三郎の夢とロマンの酪農を父 正之 寛明 直寛と受け継ぎ今日の牧場経営に至る

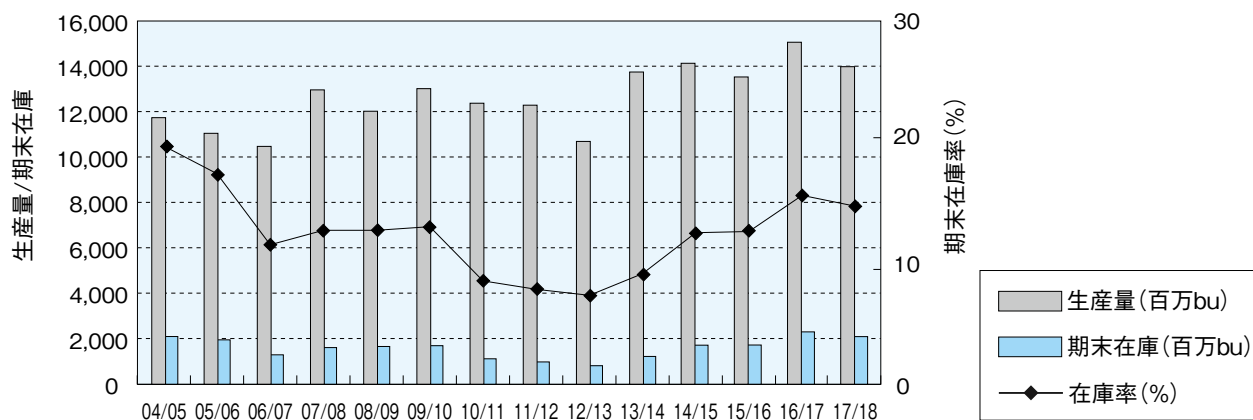
幾多の牛達の尊い生命の犠牲のもとに今日の躍進があるものと信じこの碑を建てる

現在総頭数150頭

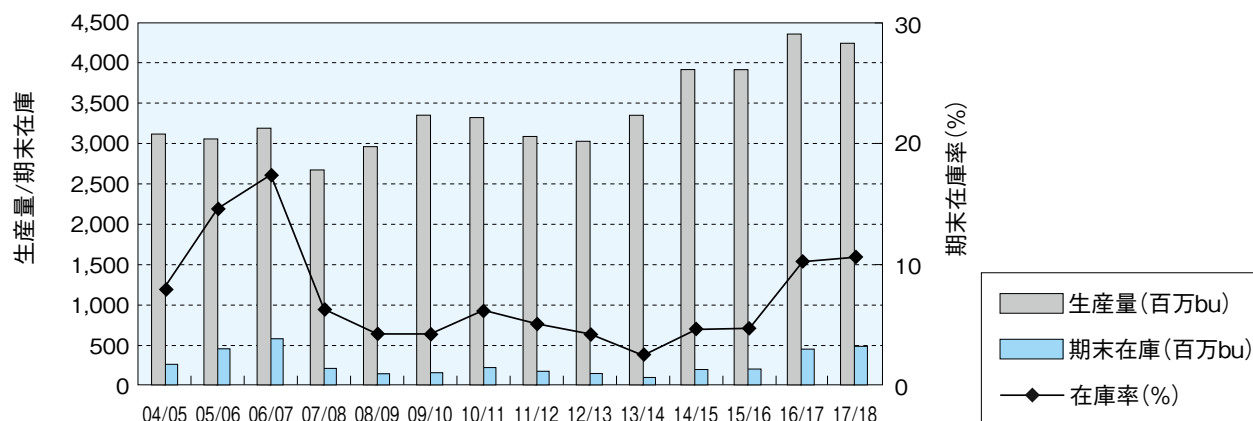


5月10日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【16/17年産】 作付面積94.0百万エーカー、単収174.6bu/エーカー、生産量151億4,800万bu、総需要量146億4,500万bu、期末在庫22億9,500万bu、在庫率15.7% 需要面で増加し、期末在庫は減少。 【17/18年産】 作付面積90.0百万エーカー、単収170.7bu/エーカー、生産量140億6,500万bu、総需要量143億bu、期末在庫21億1,000万bu、在庫率14.8% 需給両面で減少し、期末在庫は減少。
トウモロコシ 相場動向	トウモロコシは上昇。生産や世界の期末在庫が予想を下回ったのを手掛かりに買いが優勢となった。発表後、急速に上がり、374セント(7月限)と4日以来の高水準まで上昇。いったん360セント台後半まで伸び悩んだ後、取引終盤に本日の高値水準に戻した。最終的には前日対比7.25セント高の373.75(7月限)で取引終了。米国国内消費の増加に伴い、期末在庫は微減となったものの、発表内容は予想の想定内。一時的に降雨が止み米国の作付進捗の遅延懸念も減退している。一方で、ブラジル農務省が生産量を上方修正し、豊作が期待されている。しかし、天候相場が本格化していく中、引き続き米国産トウモロコシへの動向に注意が必要。
5月10日発表 米国農務省 大豆需給予想	【17/18年産】 作付面積89.5百万エーカー、単収48bu/エーカー、生産量42億55百万bu、総需要量42億35百万bu、期末在庫4億80百万bu、在庫率11.3% 需給両面で増加し、期末在庫は増加。
大豆粕相場動向	米国産大豆は、5月10日米国農務省発表の需給予想で初めて17/18年産の発表がされた。国内産大豆粕については、4月に食用油が値上げし搾油量の減少が懸念されたが、発生量は前年並みで推移。輸入品に関して中心となる中国産は搾油採算が悪いものの、搾油は順調。また需要面では中国内の豚を中心として畜産が好調で需要が順調であることから、大豆粕相場は堅調に推移。また南米産大豆粕に価格競争力が出てきており、今後日本に輸入される可能性もある。
糟糠類	【一般フスマ】鶏豚で一部他糟糠類への置換が見られたが、肉牛用を中心に安定した引合があり、需要は変化なく推移している。6月の小麦粉価格値上げを前にした仮需<先々の需要(今回は値上げ)を考慮した引合>によるフスマ発生量の増加が見込まれるが、前述の堅調な需要を背景に需給はタイトに推移するものと思われる。 【グルテンフィード】国内スターチメーカーで夏場のスターチ、異性化糖需要に向けて稼働が上がり、発生量も増加傾向にある。輸入数量は1-3月期は大きく減少。需要面では4-6月期の価格改定が値下げとなったことから堅調に推移している。
海上運賃	パナマックス型市況は南米産穀物の引き合いの流れを受けて若干上昇したが、5月に入り、引合いが閑散としてきており、値動きの乏しい展開となっている。船腹需給は不透明な状況となり上昇の勢いは若干鈍ってきているが、海上運賃は全水域的に底堅い展開が続いている。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

平成29年5月

北米コンテナ船 フレート	海運アライアンス再編による新航路のサービスが4月よりスタートしました。日本向けの寄港地が減るアライアンスに加盟する船社は、日本へ寄港する航路が多い、別のアライアンスからスペースを確保するなどして、今のところ改編前と大きく変わらないサービスで対応しています。新たな航路においては、次々と大型船が投入されてきており、北米からアジアの主要港を回る航路などでは早くも貨物スペースが埋まるのかどうか心配する声も聞こえてきています。
ビートパルプ	【米国産】2016年産の製糖及びペレット生産は間もなく終了の予定です。既報の通り、シーズン当初の見込みに比べて、ペレットの生産量は大幅な下方修正となっています。2か月ほど前には既に10%を超える大きな減少となっていました。その後春先の温暖な気候のために廃棄せざるを得ない原料大根も発生しており、減産幅は更に大きくなっている模様です。このため米国産の供給余力は一気に弱まることとなり、米国産を主力とする日本市場への影響も懸念されます。
アルファルファ	【ワシントン州】今冬は非常に寒いシーズンとなりました。主産地コロンビアベースンでは、ようやく気温が15℃を超え、春らしくなってきました。このため、アルファルファの生育は、温暖な気候により過去にないほど早かった昨年と比較すると、2～3週間程遅れています。1番刈の収穫は、例年並みから例年よりもやや遅い5月中旬以降から本格的にスタートする見込みです。
	【オレゴン州】南部クラマスフォールズにおいても、他地域と同様、厳冬の影響を受けて昨年よりもアルファルファの生育は2週間程遅れていますが、例年並みかやや遅い、6月上旬から中旬にかけて収穫が開始される見込みです。作付面積については、ほぼ横ばいから微増と予想されています。 中部クリスマスバレーも生育は昨年よりも遅れ気味です。1番刈の収穫は例年よりやや遅い6月中旬頃から始まる見込みです。当地域の作付面積に大きな変動はなく、昨年並みとなっていますが、堅調な中国向け需要や国内需要向けとして、ビックベールによる生産が近年増え続けており、スモールベールの生産が減少しています。
	【カリフォルニア州】南部インペリアルバレーでは2番刈の収穫が進んでいます。米国乳価が徐々に回復の兆しを見せており、米国内の酪農家からの需要が増加していること、および中国、中東からの需要も引き続き堅調なことから、17年産の新穀価格は前年の同時期に比べ高値で相場が形成されつつあります。北部カリフォルニアにおいては、4月下旬から1番刈の収穫作業が開始されています。作付面積はナッツ類への転作によって減少しています。
チモシー	【米国産】16年産の産地在庫はほぼ成約済となっており、多くの需要家は新穀待ちの状況となっています。17年産は価格相場の回復を予想し、ワシントン州、オレゴン州、アイダホ州の各生産地では5～10%程度作付が増えているようです。産地価格については、旧穀の在庫がないことから新穀スタート時には昨年比で値上がりが見込まれています。今年は春先から冷涼な天候となっていますが、主産地の多くの圃場では、例年並みの時期に刈り取りが始まる見込みです。
	【カナダ産】アルバータ州南部レスブリッジでは旧穀の出荷は順調に推移し、2番刈りに関しても国内の酪農・畜産農家からの引き合いが強く、チモシーの生産農家は17年産の作付に関して、前向きな姿勢を示しています。一方、アルバータ州中部クレモナ地区は、競合する作物等の価格は依然として相場が芳しくないため、このまま他の作物価格の低迷が続けばチモシーの作付は大きく変動しないと考えられます。
スーダングラス	スーダングラスの17年産作付面積は5月1日時点で、約33,500エーカーと昨年同時期を上回る作付けとなっています。当初は作付面積の減少が懸念されていましたが、多くのサプライヤーが昨年並みの作付面積に落ち着くと予想しています。 16年産の産地在庫は余剰なく、繰り越し在庫はほとんどないことから、17年産のスタート価格は強含みで展開すると予想されています。
クレイグラス	クレインは全酪連の登録商標です。 4月15日に発表された17年産の作付面積は前年比16%減となっており、生産量についても作付面積並みの減少が見込まれています。 16年産の繰り越し在庫はほぼ無い状態で、新穀まではややタイトな状況が続きます。特に韓国からの需要は引き続き堅調な模様です。新穀の生育状況は良好で例年よりやや早めで、早い圃場では4月中旬から刈り取りを始めたところもあるようです。
ストロー類	主産地オレゴン州ウィラメットバレーでは、新穀の収穫は7月から開始される予定です。16年産の産地在庫の状況は変わらず、ほとんどのサプライヤーで余剰玉はなく出荷可能な在庫は極めて限定的となっています。日本、韓国からの追加買いの問い合わせは続いています。対応は難しく状況は大きく変わっていません。
オーツヘイ	【豪州産】2月の豪州からの牧草輸出量は82,359tと単月過去最高を記録しています。その要因は中国向けで、2月単月では25,340tとこちらも過去最高の輸出量となっています。加えて、日本向け韓国向けも堅調であることから、各サプライヤーの工場はフル稼働が続いています。 西豪州、南豪州では1～3月までは降雨が多く、5月から始まる新穀の播種を前に十分な土壌水分があると見込まれていましたが、4月は一転して降雨がほとんどない状況となっています。 東豪州は4月以降も例年並みの降雨があり、こちらは順調に作付けが進むと見込まれていますが、今夏のエルニーニョ現象の発生確率は50%とされています。エルニーニョ現象が発生すると、東豪州では早魃傾向になることから、今後の播種に向け、その動向が気になるところです。

デザート



新生酪農 アイスクリームセット

税込4,500円(本体4,167円)

●バニラ90ml×3 ●チョコ90ml×3
●いちご90ml×3 ●抹茶90ml×3
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/15~8/31

冷凍 短



ハケ岳野辺山高原 レアチーズケーキギフト 12個入り

税込3,500円(本体3,241円)

●プレーン4個 ●ヨーグルト風味4個
●ストロベリー4個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/15~8/31

全 短



飛騨アイスギフト VI-PK

税込4,500円(本体4,167円)

●バニラ120ml×2個 ●ストロベリー
120ml×2個 ●抹茶120ml×2個 ●チョコ
レート120ml×2個 ●かぼちゃ120ml
×2個 ●紅茶120ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
お取扱期間 6/15~8/31

冷凍 短



ロールケーキと大福の 詰め合わせ

税込3,348円(本体3,100円)

●ロールケーキ264g×1 ●生クリーム
大福100g×2 ●抹茶クリーム大福
100g×2 ●きなこクリーム大福100g×2
(アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆
お取扱期間 6/15~8/31

冷凍 短



奥中山アイスSセット

税込4,212円(本体3,900円)

●バニラ130ml×2個 ●ブドウ
130ml×2個 ●洋なし130ml×2個 ●イ
チゴ130ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
お取扱期間 6/15~8/31

冷凍 短

奥中山アイスセット

税込5,508円(本体5,100円)

●バニラ130ml×2個 ●ブドウ
130ml×2個 ●洋なし130ml×2個 ●イ
チゴ130ml×2個 ●コーヒー130ml×2
個 ●抹茶130ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
お取扱期間 6/15~8/31



長崎カステラセット 2本入り

税込3,024円(本体2,800円)

●牛乳風味370g×1本 ●チーズ風味
370g×1本
※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦/乳/卵
お取扱期間 6/15~8/31

全 普

長崎カステラセット 3本入り

税込4,104円(本体3,800円)

●牛乳風味370g×1本 ●チーズ風味
370g×1本 ●蜂蜜風味370g×1本
※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦/乳/卵
お取扱期間 6/15~8/31

加工肉



DLG-40G

税込4,320円(本体4,000円)

●ペッパーシンケン72g×1個 ●生ハム(肩ロ
ース)40g×1個 ●トマトとオリーブ入りソー
ージ100g×1個 ●フライシュケゼ80g×1個
●辛口ポチキウインナー150g×1個 ●あらびき
ポークウインナー150g×1個
(アレルギー物質) 豚肉/大豆/乳
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



GT-400

税込4,320円(本体4,000円)

●熟成糸巻ロースハム360g ●ばら焼豚200g
(アレルギー物質) 豚肉/小麦/大豆
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



SP-310

税込3,240円(本体3,000円)

●ももハム310g ●ベーコン280g
(アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



SP-510

税込5,400円(本体5,000円)

●熟成糸巻ロースハム320g ●焼豚310g ●ペ
ーコン280g
(アレルギー物質) 豚肉/小麦/大豆
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



TS-50S

税込5,400円(本体5,000円)

●スモークロース92g×1個 ●ローストポーク135g
×1個 ●熟成乾塩ベーコン80g×1個 ●生ハム(ロ
ース)40g×2個 ●こんがり焼豚105g×1個 ●バーベ
キューソーゼージ160g×2個
(アレルギー物質) 豚肉/小麦/大豆
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



R-051

税込5,940円(本体5,500円)

●ローストビーフ(国産牛)200g×2個
(アレルギー物質) 牛肉/乳成分/小麦/大豆
/鶏肉/りんご
お取扱期間 6/20~8/10

冷蔵 簡易 短



OC-40

税込3,908円(本体3,619円)

●北海道フランク220g×1個 ●北海道認証ベーコン80g×1個
●あらびきウインナー110g×1個 ●ハーブウインナー135g×1個
●行者にんにくウインナー120g×1個 ●あらびきフランク
200g×1個
(アレルギー物質) 豚肉/乳
お取扱期間 6/20~8/31

冷蔵 簡易 短



OC-50

税込5,184円(本体4,800円)

●ペッパーポーク320g×1個 ●北海道認証ベーコン300g×1個
●あらびきウインナー110g×1個 ●ガーリックウインナー110g×1個
●バジルコフランク240g×1個 ●あらびきフランク200g×1個
(アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

● 結合せ内容商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります。● 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。● 掲載商品の価格には、配送料が含まれております。● 掲載写真はイメージです。

2017 ZENRAKU Summer Gift

チーズ



Heart FarmセクションA (全酪乳製品セット)

税込3,500円(本体3,241円)

●HFチーズ225g×1個 ●HF6Pチーズ108g×1個 ●HFとろけるスライスチーズ126g×1個 ●HFスライスチーズ126g×2個 ●HFスモークチーズ120g×1個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/15~8/31



Heart FarmセクションB (全酪乳製品セット)

税込5,000円(本体4,630円)

●HF6Pチーズ108g×2個 ●HFとろけるスライスチーズ126g×1個 ●HFスライスチーズ126g×1個 ●HFスモークチーズ120g×1個 ●ぬるチーズ150g×1個 ●HFチーズ225g×2個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/15~8/31



東毛酪農 カマンベール3個セット

税込2,830円(本体2,620円)

●カマンベールチーズ100g×3個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/15~8/31



麺



島原手延素麺細造り 26束(木箱入)

税込3,812円(本体3,530円)

●細造り素麺1束50g(乾麺)×26束
(アレルギー物質) 小麦
お取扱期間 6/15~8/31



全酪めんセット

税込4,104円(本体3,800円)

●全酪冷し中華10食 ●九州冷し担々麺6食
(アレルギー物質) 小麦/大豆/りんご
お取扱期間 6/15~8/31



●全国酪農業協同組合連合会

- 本所 酪農部 (東京支所) 〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F
TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- 札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- 仙台支所 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- 名古屋支所 〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- 大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪ヨドバシビル6F
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- 福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

●取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び送料が含まれております。
5. 結合せ内容商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。
(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通** **短冊** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

栄えある 春の叙勲・褒章

政府は4月29日、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。

全酪連関係者からは、次の方が受章の名誉に輝きました。

心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。



▲ 叙勲伝達式当日の馬瀬口夫妻

●旭日中綬章●

馬瀬口 弘志 氏

現 一般社団法人全国酪農協会 会長
現 岐阜県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長
現 飛騨酪農農業協同組合 代表理事組合長
現 東海酪農農業協同組合連合会 代表理事副会長
現 全国酪農農業協同組合連合会 理事

●旭日小綬章●

岡田 忠敏 氏

前 岐阜県農業協同組合中央会 会長
前 めぐみの農業協同組合 代表理事組合長
前 岐阜県酪農農業協同組合連合会 理事
前 美濃酪農農業協同組合連合会 理事

●旭日単光章●

石黒 義雄 氏

前 北宗谷農業協同組合 代表理事組合長
前 公益財団法人北海道農業公社 副理事長
前 北海道信用農業協同組合連合会 経営管理委員会委員
前 北海道厚生農業協同組合連合会 理事
前 北海道草地協会 理事



乳牛産地情報

平成 29 年 6 月 1 日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

事 務 所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	55~65	▲	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計91.6%、累計で91.4%、苫小牧管内月計で96.5%、累計で96.1%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩予定の牛が中心となります。5月に道内各地の乳牛市場が弱含みで推移したこともあり、この地域の乳牛市場を含め、やや弱含みで6月は動くものと思われます。育成牛につきましては、道内各地より育成農家を中心に育成市場に購買に入っている動きがあり、庭先購買もやや強含みとなるとと思われます。
	初 妊 牛	80~90	▼	
	経 産 牛	45~50	▼	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	60~70	▲	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で96.6%、累計で96.4%、中標津管内月計で99.9%、累計で99.3%の実績となっております。 5月の管内乳牛市場は夏産み中心の取引となった為、前月と比べ釧路で約30千円、根室で約65千円下げた相場となりました。ただ上物クラスの牛については百万円前後での取引となるなど、牛の質により差がつく状況となっています。育成牛については資源不足から相場は上がっており、初生雌牛でも5月中旬の市場平均価格が492千円となっております。その様な状況の中、6月の初妊牛動向は9月分娩の牛が中心となって動きませんが、今までの流れと大きくは変わらず、やや弱含みながら高値を維持するものと思われます。
	初 妊 牛	83~95	⇐	
	経 産 牛	55~65	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	60~70	▲	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で97.6%、累計で97.4%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月上旬分娩予定の牛が中心となり取引されます。この地域の乳牛市場は5月に2回開催され、それぞれ前回より約52千円、35千円と下げております。これは夏分娩のため都府県の導入意欲が弱まったためと考えられます。このため、庭先購買価格もやや弱含みで推移するものと思われます。腹別ではF1腹が中心となり、選別精液や通常ホルスタイン精液授精腹は若干出回りが少ないものと思われます。
	初 妊 牛	85~95	⇐	
	経 産 牛	50~60	▼	
道北管内	育成牛(10-12月令)	55~65	→	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.4%、累計で99.0%、北見管内では月計で99.6%、累計で99.1%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月分娩中心となります。5月の初妊牛相場は、7月分娩腹までは高値で推移しましたが、8月以降の夏場分娩は府県の引合いも弱かった事から下げた相場となりました。6月の初妊牛相場も5月同様弱含みで推移するものと思われます。しかしながら、道内外でクラスター事業による大型牧場の施設が完成し、夏場から秋にかけて乳牛の導入が始まる事と搾乳素牛の資源不足も重なり価格動向には注意が必要となります。導入希望者は、分娩牛が入牧中の乳牛もいますので早めの連絡が必要です。
	初 妊 牛	80~90	▼	
	経 産 牛	50~60	▼	
道内総括	育成牛(10-12月令)	60~70	▲	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は98.3%、累計で98.0%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月の夏分娩が中心となります。春以降の初妊牛相場は高値相場が継続した事により、夏分娩事故の損失リスクに対する警戒感が高まり、5月の都府県からの注文は例年より減少しました。初妊牛相場については、やや落ち着いた動きを取り戻した状況となっております。 しかしながら、道内外のメガ・ギガファームの導入意欲は依然として強く、今後の初妊牛相場の動向には注視する必要があります。秋以降の導入のご予定がございましたら、早めのご連絡を頂きますようお願い申し上げます。
	初 妊 牛	85~95	⇐	
	経 産 牛	50~60	▼	

今月の表紙



今月の表紙は、「第7回酪農いきいきフォトコンテスト」(第45回全国発表大会にて開催)で応募頂いた作品「スキンシップ」(山口県 藤井直良 氏撮影)です。

平成29年6月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 6月号 No.621

●編集・発行人 大森 一幸

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

編集後記



- 6月は「牛乳月間」であり、また全国酪農青年女性会議では各地で「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを始め、さまざまな消費拡大運動が展開されます。
みなさま時間の許す限り、積極的に参加して牛乳をPRしていきましょう。
- 7月の全国大会で札幌にて皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

今月の

らくのう

こどもギャラリー 入賞作品紹介



牛の日常

北陽幼稚園(北海道)5才 渡邊 雄大

今月の入賞作品は…

北陽幼稚園(北海道)5才の渡邊 雄大さんの作品です。

牛さんの顔や体に塗られた白い色の筆跡に勢いあって良いです。左下に描かれたなぞのいきものもかわいらしいです。5才ならではのシンプルで力強い表現が印象的です。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第43回らくのうこどもギャラリー」で全国674点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議